



1. 理事会開催 — 23 学年度から 9 人増の 889 人採用 —

6月5日、第39回理事会が都内会場にて開催され、全国から理事27人、監事2人が出席しました。

今回の理事会では、議長の若林紀男理事長の進行の下、主な議案として、2024 学年度奨学生採用数、2024 学年度募集要項、2023 年度事業計画案、資



産運用方針案、収支予算案などが審議されました。これらの議案は各担当理事、事務局長から

の提案説明を経て、すべて原案通り承認されました。これにより、2024 学年度の奨学生採用数は、前年度から9人増加の889人（枠）とすることが決定しました。

2. よねやま親善大使 退任式・任命式開催

6月5日の理事会開催前、この6月末で退任となる第4代よねやま親善大使3人の退任式が行われました。記念品として感謝の盾などが贈られ、それぞれの大使が3年に及ぶ活動や支援への感謝を述べました。コロナ禍という、活動が制限された難しい環境の中、精力的かつ柔軟に活動していただき、心より感謝申し上げます。

その後、7月1日から正式に始動する第5代よねやま親善大使3人の任命式が行われました。



委嘱状を受け取った陳瑤さん(左)とウェンウェベさん(右)

残念ながら、イメン ジェブリさんが体調不良により欠席となりましたが、全国各地の理事が見守る中、若林理事長から、出席した2人の大使へ委嘱状とタスキが手渡されました。

また、親善大使のセレモニー終了後、奨学会事務局にて第5代よねやま親善大使のオリエンテーションを開催。広報委員会の酒井善盛委員長を講師に迎え、親善大使の役割や心構えを学んでいただいたほか、第4代親善大使から、体



退任するカレンさん(左)、アヘゴさん(中央右)、李さん(右)

験談やアドバイスを話していただきました。

まもなく、第5代よねやま親善大使の3人が2年の任期で活動を開始します。米山学友の代表として、当事業のあらましや自身の活動、ロータリーとの交流から、学んだ経験が人生においてどのように生かされているか等をお話します。地区大会や米山セミナー、奨学生のオリエンテーションや歓送会等でのスピーチに、ぜひお招きください。招へいをご希望の場合は、米山奨学会事務局の広報担当まで。



研修を終えた親善大使と酒井善盛広報委員長(中央左)

3. 寄付金速報—今年度の寄付実績は 6 月 30 日(金)まで—

前年同期比

+ 6.6%

普 - 1.2% 特 + 10.5%

5 月までの寄付金は前年同期と比べて 6.6% 増（普通寄付金: 1.2% 減、特別寄付金: 10.5% 増）、約 8,080 万円の増加となりました。今年度予算の普通寄付金 4 億 1 千

万円までは、残りあと 290 万円ほど。特別寄付金 8 億 7 千万円は既に 3,000 万円超えて、今年度分の予算達成は確実となりました。ご寄付をいただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。尚、今年度の寄付実績は、普通寄付金・特別寄付金ともに 6 月 30 日（金）までに当会銀行口座に入金記帳された分までとなります。日程に余裕をもってご送金ください。

4. 博士号取得状況

2022-23 学年度に博士号を取得した奨学生・学友は 64 人、これまでの累計は 3,919 人となりました（6 月 12 日現在）。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計を贈呈しています。裏ぶたに氏名を刻印した世界に一つだけの腕時計です。クラブ例会で贈呈することにより、学友との交流再開のきっかけとなるかもしれません。博士号を取得した奨学生・学友がいましたら、当会事務局へご報告ください。



文字盤の裏に氏名を刻印

申請方法

- ・ 奨学期間終了後の取得でも対象です
- ・ お届け先は、原則として世話クラブです
完成まで約 2 週間かかります

「学位記の写真」もしくは「学位取得証明書」と、当会書式「博士号取得報告書」の 2 点を世話クラブから米山奨学会へ FAX かメールで送信。
(FAX: 03-3578-8281 / email: alumni@rotary-yoneyama.or.jp)

5. 全国米山学友会代表者セミナー開催

国内外の米山学友会代表者を対象としたセミナーが 5 月 13 日、ハイブリッド形式で開催されました。都内会場には日本国内 33 の学友会のうち代表者 27 人が集い、海外学友会会長の 9 人がオンラインで参加しました。

若林紀男理事長、学友準備委員会の服部良男委員長からそれぞれご挨拶をいただき、事務局から学友会規程や標準会則に関する説明を行いました。「再会 in 関東」について朴貞子実行委員長からご案内いただいた後、タイ学友会のブンロッド ワラウト会長（1995-97 / 福岡東南 RC）、第 2740 地区学友会のアメリカ・リズキ一会長（2020-21 / 鹿島 RC）、第 2660 地区学友会の頼育萱会長（2006-07 / やまと西和 RC）の 3 人から、各学友会の活動や工夫について、事例発表が行われました。



セミナー終了後に全員で記念撮影

その後は 4 グループに分かれ、会員増強など、学友会の運営について活発な議論が交わされました。駒井英基学友担当理事からの講評後、懇親会が開催され、打ち解けた雰囲気ですらに親睦が深められたようでした。今回のセミナーを通じて、地区を越えて学友の結束が深まり、今後の情報共有・連携が進むことが期待されます。